

会 議 録

会 議 の 名 称	第 1 回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開 催 日 時	令和 5 年 4 月 11 日 (火) (午前・午後) 9 時 00 分 開会 (午前・午後) 正午 閉会
開 催 場 所	茨木市役所南館 8 階中会議室
議 長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、N P O 組織基盤強化コンサルタント)
出 席 者	【評価委員】 河合将生氏 (N P O 関係者)、藤原直樹氏 (学識経験者)、桜井政成氏 (学識経験者)、高田和子氏 (地域活動関係者)、板倉幸司氏 (公募市民) (5 人) 【事務局】 中井市民文化部長、向田共創推進課長、 吉田共創推進課市民活動グループ長、松井 (4 人) 【関連課及び担当課】 政策企画課、人権・男女共生課、健康づくり課、まち魅力発信課、地域コミュニティ課、長寿介護課 (6 課)
開 催 形 態	原則公開 (傍聴者 1 人)
議 題 (案 件)	(1) 委員委嘱 (2) 諮問 (3) 副委員長選出 (4) 会議の公開・非公開の決定、傍聴要領、会議の概要説明 (5) 提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答
配 布 資 料	・ 第 1 回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・ 令和 5 年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・ 応募関係書類 (個人情報を含むため省略)

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及び部長あいさつ 今年度からの新任委員の委嘱 河合委員長へ諮問書を手交
河合委員長	委員長あいさつ 副委員長の選出について ⇒本日欠席だが、学識経験者である藤原委員が適任ではとの声があり、全員一致で藤原委員に決定
事務局	公開・非公開の決定について（原則公開） 会議録について（要点筆記とする） 本日の会議の概要説明 傍聴者入室許可（傍聴者入室） ----- プレゼンテーション開始 -----
団体	【前年度報告・自由テーマ型】 いばらき学生マルシェ 茨木学生生活動交流会
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・会場費や備品費は？ →会場とした IBALAB@広場は使用料がかからず、備品も無料であった。 ・この事業内容であれば、マルシェというよりは、縁日的なネーミングの方が伝わりやすいように思う。
藤原副委員長	・大学を超えたつながりはどのようなしくみ？ →運営メンバーの知り合いの団体や、市内の高校、大学へ出店募集もした。今後は出店予定の高校生や大学生が交流できる場作りをしたい。
高田委員	・出店料は。 →今回は出店料による収入はない。非営利団体は無料、それ以外は 500 円としたが、今回は全て非営利団体だったため。
河合委員長	・今回、補助金があることで、具体的に何にチャレンジできたか？ →補助金があることで規模を大きくでき、机や椅子をレンタルしたりチラシを印刷できた。 ・単に規模を大きくするだけでなく、事前の申し込みや事後などで、出展者側の声を聞くことで内容を充実させていってほしい。

団体	【前年度報告・人権・男女共同参画推進事業】 コロナ禍だからこそ、こどもが安心して過ごせる第3の居場所づくり事業 NPO 法人わんだーらんど
関連課	【関連課 意見】
板倉委員	【質疑応答】 ・自立に向けての今後の展開は。 →物価高に伴い利用料を引き上げる予定で運営も苦しい。将来的な自立のためには、何らかの形で財源の確保が必要。
河合委員長	・参加者からのニーズはどこにあるか。 →居場所づくりと安価な食事が求められている。居場所まで来られない子への対応が課題。
団体	【前年度報告・自由テーマ型事業】 みんなにやさしいクッキング～食物アレルギー対応～啓発事業 LFA 食物アレルギーと共に生きる会
関連課	【関連課 意見】
板倉委員	【質疑応答】 ・参加者 165 人の内訳は。 →一般募集 150 名に加えて、講演会の内容検討のためにヒアリングした人(当日も参加)が 15 名。
桜井委員	・講演会のアーカイブ動画等はアップするのか。 →写真を中心にした活動報告（ブログ）と、アンケート結果は掲載予定。
河合委員長	・子ども食堂などがアレルギー対応について相談できる場などがあると活動の幅が広がりそう。 →引き続き取り組みたい。
団体	【自由テーマ型事業】 食育講座 特定非営利活動法人自然派食育・きちんとしほん
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・昨年度も行っていた事業だが、対象者を変える予定はあるか？ →今までは市民活動センターから発信してもらっていたが、小学校の PTA から声がかかることがあるので、小学校にも声をかけていきながら実施したい。
板倉委員	・報償費が 3 万、2 万、1 万と 3 種類あるのはなぜか

高田委員	→プロに依頼すると費用がかさむ場合がある。なるべく自分たちで講師ができるようになっていきたい。 ・消耗品費の内訳を詳細に記入してほしい。分かりづらい。 →次回以降気を付ける。 ・合計でどれくらいの参加者数を見込んでいるか。 →60 人を見込んでいる。 ・事業は数回行われるとのことだが、会場費が2回分しかないのはなぜか。 →クリエイトセンターの喫茶室（利用料無料）での実施を予定しているため。
団体	【連携型事業】 小さな料理人計画 2023 子育て食育実行委員会
関連課	【関連課 意見】
藤原副委員長	【質疑応答】 ・連携の意義を具体的に教えてほしい。 →団体が SNS の発信に疎いため、そこを補ってもらえる団体を連携団体とした。 ・動画の作成だけか。動画作成だけであれば、その分を予算に計上し、自由事業でもよいのでは？ ・学生との連携は動画の作成のみか。食育の部分には入らないのか。 →今のところ考えていない。 ・作っていくところを動画にする意味は？ →作る過程だけでなく、こどもの成長を見てほしい。また、教え方の参考にしてほしい。
団体	【自由テーマ型事業】 おにクルと街と市民を有機的につなぐコミュニティ形成と発展のための事業 てくてくぱくぱくのめ〜る倶楽部
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・「マップ」「トートバッグ」「バッジ」それぞれの関係は。 →マップは来場者のおすすめスポットや名所にコメントをつけた付箋をつけてもらう。 トートバッグは、オープニングイベントでマップ作りに参加してくれた人へ、普段の活動を紹介する際のツールとして使う。 缶バッジは、協力店においてもらう。依頼はこれからする。
藤原副委員長	・今後自走するイメージはついているか。また、ビジョンは。 →現在検討中だが、協力店にスポンサーを募ることは考えていない。市民として楽しみながら活動したいので、部費徴収という形で資金を集めたいと考えている。今

	年度は飲食店、次年度以降は名所や工場見学できるスポットなどの追加も検討したい。
団体	【自由テーマ型事業】 コミュニティ通貨【IBARAKI PAY】 IBARAKI PAY 運営委員会
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・単なる「地域クーポン」とならない工夫はあるか。 →メッセージと共に送ることができる。3か月で切れ、使われなかった分は再配布される。期限があることで循環を促す。
板倉委員	・事業の規模感について →協賛等を中心に、初めに15～20万円程度流す。PRにより一般の方にチャージして使ってもらおうことを目指す。 ・他市の失敗事例はあるのか。 →大きな問題は起こっていないが、広げていくことに課題を感じる事例が多いと聞いている。
高田委員	・導入店舗へメリットやデメリットの周知が必要かと思うが、間に合うのか。 →飲食4店舗、小売2店舗に、制度についてはすでに軽く説明している。今後詳細について、改めて伝える予定。
団体	【自由テーマ型事業】 茨木市高齢者サービス事業所連絡会 いばらき孫・子・老ふれ愛フェスタ
関連課	【関連課 意見】
河合委員長	【質疑応答】 ・前回実施時との違いはあるのか。「チャレンジ」の要素は何か。 →多世代へのアプローチを広めるために新たな取り組みをしたいと考えている。
藤原副委員長	・過去18回行っているがマンネリ化しないか。 →紙媒体から動画コンテンツを増やすなど、イベントのやり方や発信方法を工夫していきたいと考えている。
桜井委員	・作品を作成した本人は来るのか。 →来る。作品を設置することで、家族や親戚との会話につながる。
河合委員長	他に意見はないか。以上でプレゼンテーションを終了する。
	傍聴者退出

河合委員長	事務局から連絡事項はないか。
事務局	次回は、4月14日、午後2時30分から、南館8階中会議室で開催予定。
河合委員長	以上で、第1回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。